

# JKFA げんきみらいプロジェクト

～こどもたちが笑顔になれる未来へ～



2030年、社会に出るのは、

今のこどもたちです。

動き出そう。すぐ先の未来のために。

日本こどもフィットネス協会（JKFA）は、  
フィットネスを通じて、「こどもたちを元気にする」活動をしています。  
この先も、こどもたちが心身ともに元気（健康）でいられるように、  
わたしたちは、未来に向けて動き出します。

## 【ほんの少し先の未来のこと】

10年後の2030年、世界は、日本は、どうなっているでしょうか？

もっと夏が暑くなっているかもしれない・・・

感染症の心配はないだろうか・・・

紛争やテロに脅かされていないだろうか・・・

私や家族は幸せになっているだろうか・・・

こうした未来への不安もあるかもしれません。

でも、「こうなりたい」、「こうなっていたい」と夢を抱き、  
なりたい未来を想像すると、元気が湧いてきます。

10年後を“こどもたちが笑顔になれる未来”にするため、

わたしたちは、SDGsに参加し、2030年までの10年間も、

「こどもたちを元気にしよう」をテーマに、

フィットネス・ダンス・女性活躍・女性支援・  
子育て支援・若者支援、地域活動などに取り組んでまいります。



## こどもたちが笑顔になれる未来へ

こどもたちが笑顔でいること、  
それは、こどもたちをサポートする家族が笑顔でいることでもあります。  
このテーマは、  
“家族が笑顔になれる未来へ”とも言い換えられます。

JKFAは、SDGsの17目標のうち、  
フィットネス・ダンスを通じて、主に、10目標の達成を目指して行動します。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



3 すべての人に  
健康と福祉を



3.4 2030年までに、非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を促進する。

- ▶ JKFAのフィットネスやダンスプログラムを全国に広め、多くのこどもたちに体感してもらうことで、こどもたちの心と体を元気（健康）にする。こどもたちが笑顔になれる未来をつくる。

4 質の高い教育を  
みんなに



4.2 2030年までに、全ての子供が男女の区別なく、質の高い乳幼児の発達・ケア及び就学前教育にアクセスすることにより、初等教育を受ける準備が整うようにする。

- ▶ 手洗いは教育の1つである。日本中のこどもたちに手洗いを浸透させるため、幼稚園、保育園にオリジナル手洗いソング「ウオッシュュアニマル探検隊」を提供する。

5 ジェンダー平等を  
実現しよう



- 5.1 あらゆる場所における全ての女性及び女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。
- 5.4 公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、並びに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。
- 5.5 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。
- 5.a 女性に対し、経済的資源に対する同等の権利、並びに各国法に従い、オーナーシップ及び土地その他の財産、金融サービス、相続財産、天然資源に対するアクセスを与えるための改革に着手する。
- 5.b 女性の能力強化促進のため、ICTをはじめとする実現技術の活用を強化する。
- 5.c ジェンダー平等の促進、並びに全ての女性及び女子のあらゆるレベルでの能力強化のための適正な政策及び拘束力のある法規を導入・強化する。

▶JKFA公認インストラクターを増やすことで、  
女性の活躍の場を広げ、女性就労の支援に繋げる。

6 安全な水とトイレ  
を世界中に



- 6.b 水と衛生に関わる分野の管理向上における地域コミュニティの参加を支援・強化する。

▶水を出しっぱなしにしない、  
フィットネスに欠かせない水を大切にすることを伝え、実践する。

▶日本トイレ研究所様との協力活動を今後も継続する。

8 働きがいも  
経済成長も



8.5 2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。

8.6 2020年までに、就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす。

▶ ライセンス取得時の若年層応援システムを継続して実施する。

▶ 専門学校でのライセンス取得者を増やすことで、  
若者の専門技術取得、及び就職支援に繋げる。

11 住み続けられる  
まちづくりを



11.7 2030年までに、女性、子供、高齢者及び障害者を含め、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスを提供する。

▶ JKFA設立以来、ずっと大事にしている地域での活動を今後も継続する。

▶ 地域の児童館や公民館など、公共施設での活動を今後も継続する。



12 つくる責任  
つかう責任



- 12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
- 12.8 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。

▶ごはんは残さずに食べる。エコバッグを使う。水筒を持ち歩くなど、物を大切にするなど、自分たちがすぐにできることを伝え、実践する。

14 海の豊かさを  
守ろう



- 14.1 2025年までに、海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する

▶ゴミを増やさない、ルールを守って捨てる、分別するなど、自分たちができることを伝え、実践する。



16.2

子供に対する虐待、搾取、取引及びあらゆる形態の暴力及び拷問を撲滅する。

- ▶ 幼児向け、親子向けのプログラムを地域で行い、子育て中のお母さん、お父さんが参加できる「居場所」を作る。仲間と会い、話し、フィットネスすることで、横のつながりを広げ、孤独な育児から開放する。



17.16

全ての国々、特に開発途上国での持続可能な開発目標の達成を支援すべく、知識、専門的知見、技術及び資金源を動員、共有するマルチステークホルダー・パートナーシップによって補完しつつ、持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを強化する。

- ▶ 既存のパートナー、および新たなパートナーとも手を組んで、SDGs目標達成のために貢献する。

わたしは、

こどもたちが笑顔になれる未来のために、

こどもたちといっしょに、

自分ができることを行い、

持続可能な開発目標(SDGs)を支援します

## SDGs こどもたちといますぐにできること

- ★ウォッシュアニマル探検隊を踊り、手洗いを広める（目標1：すべての人に健康と福祉を/目標4：質の高い教育をみんなに）
- ★手洗いをしている間、水を止める（目標6：安全な水とトイレを世界中に）
- ★お風呂でシャワーを出しっぱなしにしない（目標6：安全な水とトイレを世界中に）
- ★ごはんは残さずに食べる（目標12：つくる責任つかう責任）
- ★部屋の電気はこまめに消す（目標7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに）
- ★鉛筆や消しゴムは小さくなるまで使う（目標12：つくる責任つかう責任）
- ★オモチャを大切に扱う。同じようなオモチャは買わない（目標12：つくる責任つかう責任）
- ★買い物をするときはエコバッグを使う（目標12：つくる責任つかう責任）
- ★水筒を持ち歩き、できるだけペットボトル飲料を買わない（目標12：つくる責任つかう責任）
- ★SDGsを家族や友だち、人に伝える（目標1：すべての人に健康と福祉を）